

生徒会活動・委員会活動・係活動 みんなのためによくがんばっています

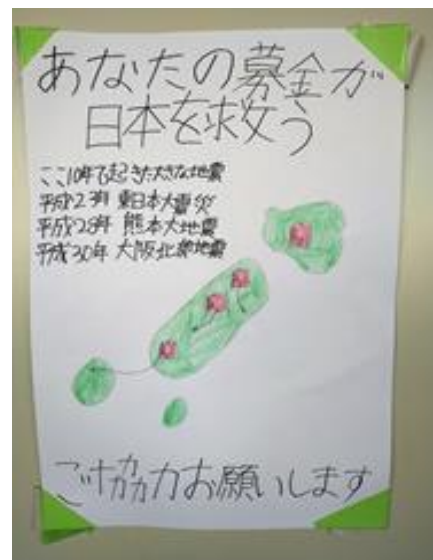
新型コロナウイルス感染症が全国で拡大している中、本校の教育活動も制限を受けています。やりたくてもできないというもどかしさがあります。このような状況にあっても生徒のみなさんは、みんなのために、生徒会活動や日々の委員会活動・係活動にしっかり取り組んでいます。一中の教育活動が円滑に進んでいるのも生徒のみなさんが、生徒会活動・委員会活動・係活動にがんばっているおかげです。

例えば、委員会活動では、正門でのあいさつ運動、2時間目が終了後の換気の呼びかけ、昼休みの図書室利用の呼びかけ、石けんや消毒用のアルコールの入れ替えなどが日常的に行われていますね。各学級での係活動がしっかりしていると宿題忘れがなくなったり、授業がスムーズに進んだり、掲示物が整えられたり、清掃が丁寧にされたりして、学習環境がとてもよくなります。

生徒会では、「いじめ」をなくすための活動に文化祭を中心に取り組んでくれました。アンケートをとって、生徒会で意見を交わし、動画を作成して、生徒みんなで考えることができる活動でした。生徒会新聞12月号では、「相談しやすい環境をつくるのが大切!!」「横のつながりをしっかり持とう!!」「みんなでいじめのない学校にしましょう!!」と全校生徒に呼びかけてくれました。また、いじめを0にするために、友人や家族など周りの人たちどうして相談し合える関係を作ることが、よりよい未来に近づく一歩だとも書いてくれています。

生徒会新聞2月号や全校集会、ポスターで募金を呼びかけ、2月15日（火）から18日（金）の登校時間に大変寒い中でしたが、募金活動を行いました。日本赤十字を通じて災害救護活動や新型コロナウイルス感染症拡大防止等に役立てていただけることでしょうか。生徒の皆さんに「私たちが当たり前の生活を送っている中、今もなお災害で苦しんでいる人達があります。私たちに出来る事は限られますが、あなたの勇気が日本を救います!!」とメッセージを送ってくれました。

生徒会活動・委員会活動・係活動など、生徒一人ひとりの主体的な活動が様々な学びに結びついて、生徒みんなの学びに結びついていきます。さらには、その活動を行っている人は、心の中で何かを感じ、成長することができることでしょう。



大阪市スマホサミットからの提言

大阪市立中学校代表校の生徒会のメンバーが考えました
【スマホ依存防止スローガン】

☆ 人間関係

「言葉のトゲをなくそう～サボテンからタンポポへ～」

☆ 時間

「戻せない 後悔のない ひと時を」

☆ 危険

「再確認～その情報、ほんまにあってる?～」

【第3教育ブロックのスマホ依存防止スローガン】

「スマホ依存 減った時間は 充電できない」

「スマホとソーシャルディスタンス」

おめでとうございます!!

「住吉一中PTA だより」が第71回全国小・中学校・PTA 新聞コンクール（毎日新聞主催）において、「佳作」に入賞しました。

いつも取材から記事の作成、更生など時間をかけて、細部にわたって丁寧に作成された賜物です。「住吉一中PTA だより」が全国で高い評価をいただいたこと、みなさんで喜ぶたいですね。